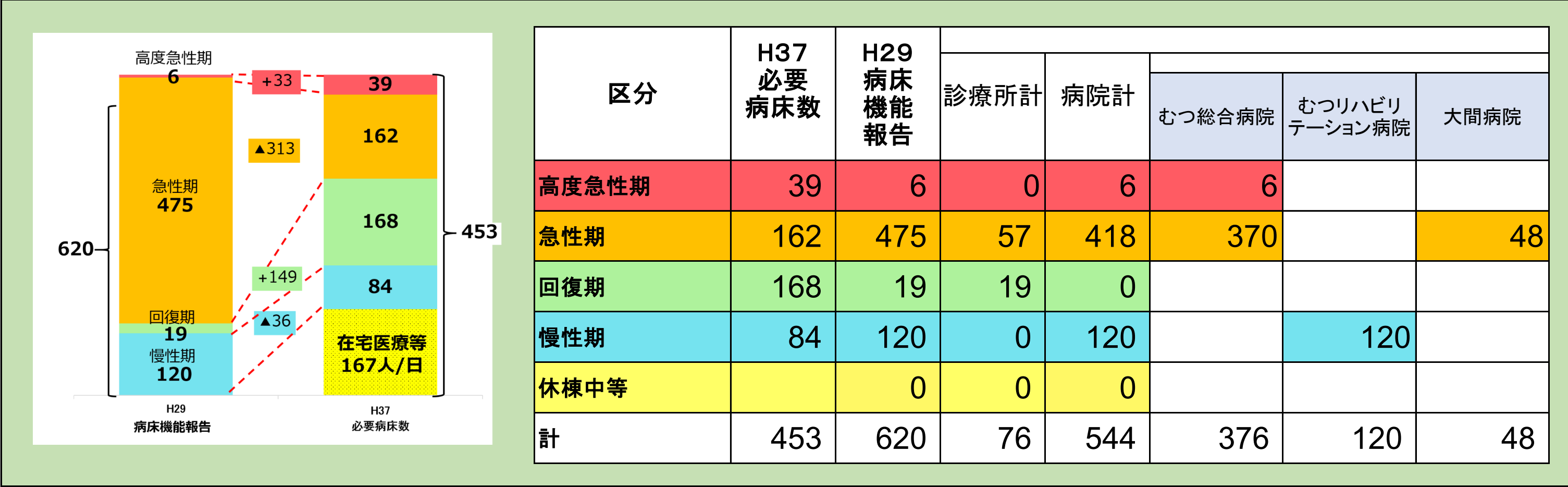


急性期の過剰、回復期の不足が見込まれている現状において、H29病床機能報告で急性期と報告のあった病院の診療実績等を比べ、高度急性期・急性期・回復期・慢性期について、H37必要病床数の姿に近づくための議論の参考として作成。



(考察)

- 急性期と慢性期の医療機能で、病床機能報告による病床数が将来の必要病床数を上回っている。
- 入院医療から在宅医療へ移行することが可能と推計される患者数は167人で、在宅医療提供体制の新たな整備が必要である。

1. 入院患者数

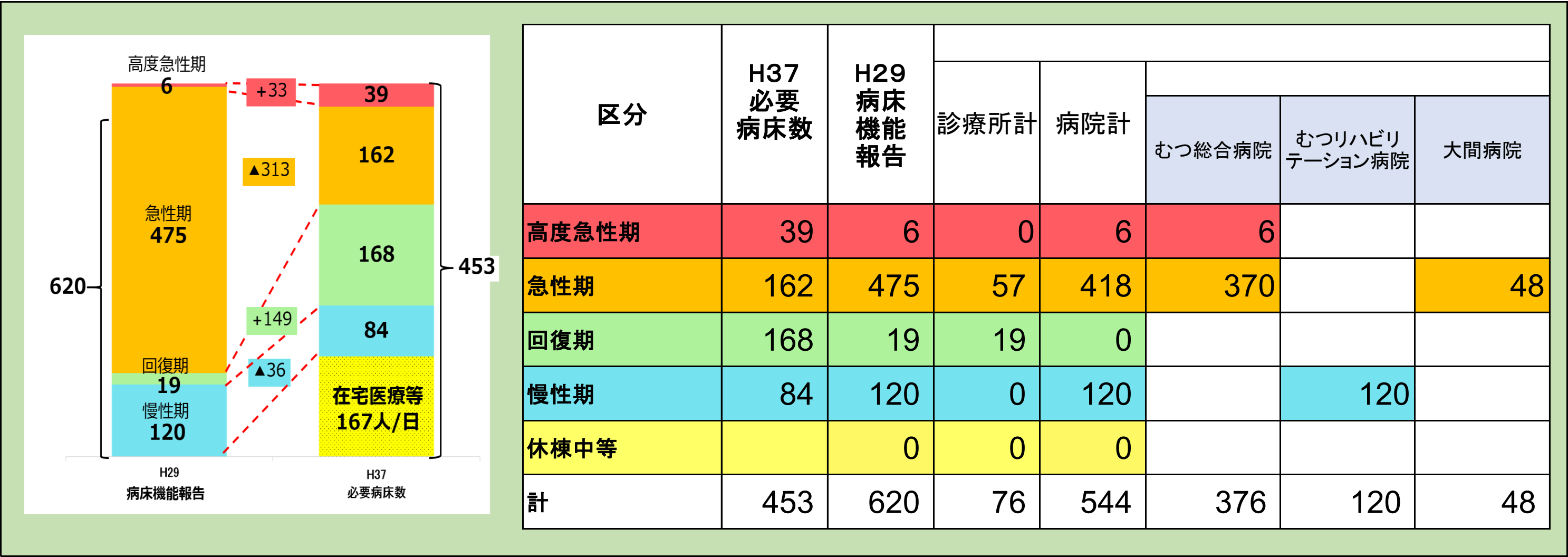
	むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
病床利用率(入院患者数／許可病床数(休棟中等除く))	71.5%	88.3%	62.5%
病床稼働率(入院患者数+退院患者数)／許可病床数(休棟中等除く)	75.8%	90.0%	64.6%

2. 算定する入院基本料届出病床数

	むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
一般病棟10対1入院基本料	358		48
特定集中治療室管理料3	4		
小児入院医療管理料4	(15)		
療養病棟入院基本料2		80	
介護療養病床において療養型介護療養施設サービス費等の届出あり		40	
合 計	362	120	48

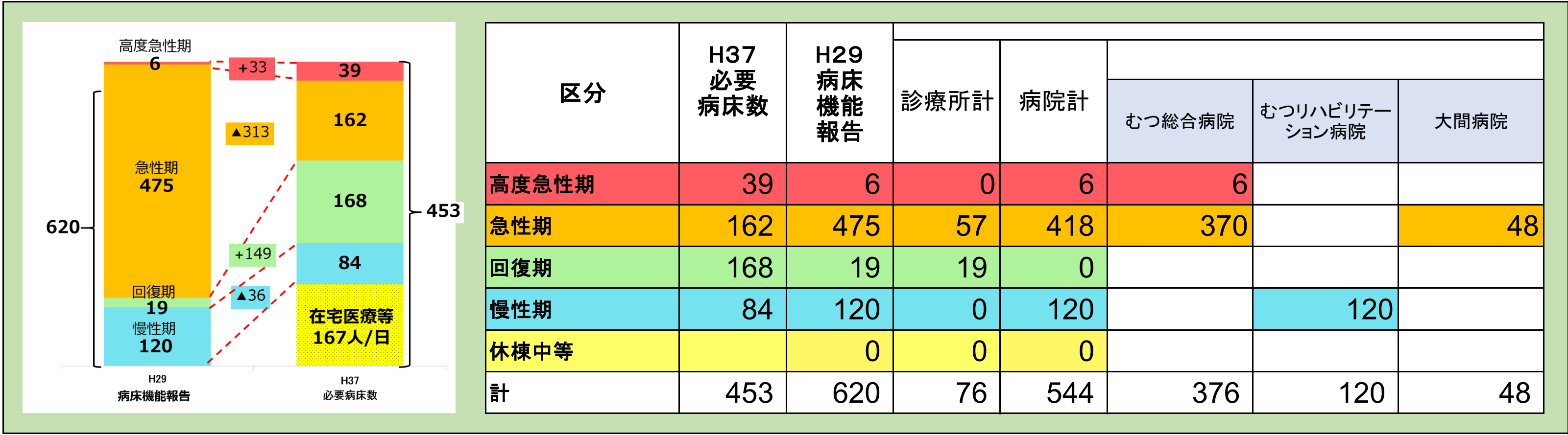
(考察)

- むつリハビリテーション病院は介護療養病床を有しており、平成36年3月末までに介護医療院等への転換が必要となっている。

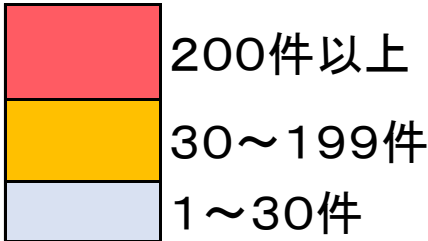


3. 認定・届出等

(項目の解説)		むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
DPC医療機関群の種類	DPC制度とは、急性期の入院医療を担う医療機関において、患者に対し、入院日数に応じた1日あたり定額の医療費を請求する制度です。この項目は、DPC制度の対象となる病院の特性を示すもので、特性や疾患等に応じて1日あたりの医療費の設定が異なります。Ⅰ群が大学病院本院、Ⅱ群が大学病院本院に準じる病院、Ⅲ群がそれ以外の病院であることを示します。	Ⅲ群		
救急告示病院の告示の有無	救急告示病院とは、事故や急病等による救急患者を救急隊が緊急に搬送する医療機関として、都道府県知事が認めた病院です。また、救急患者のうち、入院医療が必要な重症な救急患者を休日や夜間に受け入れる医療機関を二次救急医療施設といいます。さらに、二次救急では対応できない重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる医療機関をを三次救急医療施設と呼びます。	○		○
二次救急医療施設の認定の有無		○		○
三次救急医療施設の認定の有無				
特定機能病院の承認の有無	特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた病院として、厚生労働大臣が承認した病院をいいます。			
地域医療支援病院の承認の有無	地域医療支援病院とは、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として、都道府県知事が承認した病院をいいます。			
総合入院体制加算の届出の有無	総合入院体制加算とは、十分な人員配置および設備等を備え総合的かつ専門的な急性期医療を24時間提供できる体制等を確保している病院のことです。			
在宅療養支援病院の届出の有無	在宅療養支援病院とは、24時間往診が可能な体制を確保し、また訪問看護ステーションとの連携により24時間訪問看護の提供が可能な体制を確保している病院のことです。			○
在宅療養後方支援病院の届出の有無	在宅療養後方支援病院とは、在宅医療を受けている患者の急変時に備え、緊急入院を受け入れるための病床を確保している病院です。			
(考察) ・大間病院が在宅療養支援病院の届出を行っている。				



4. 手術の状況

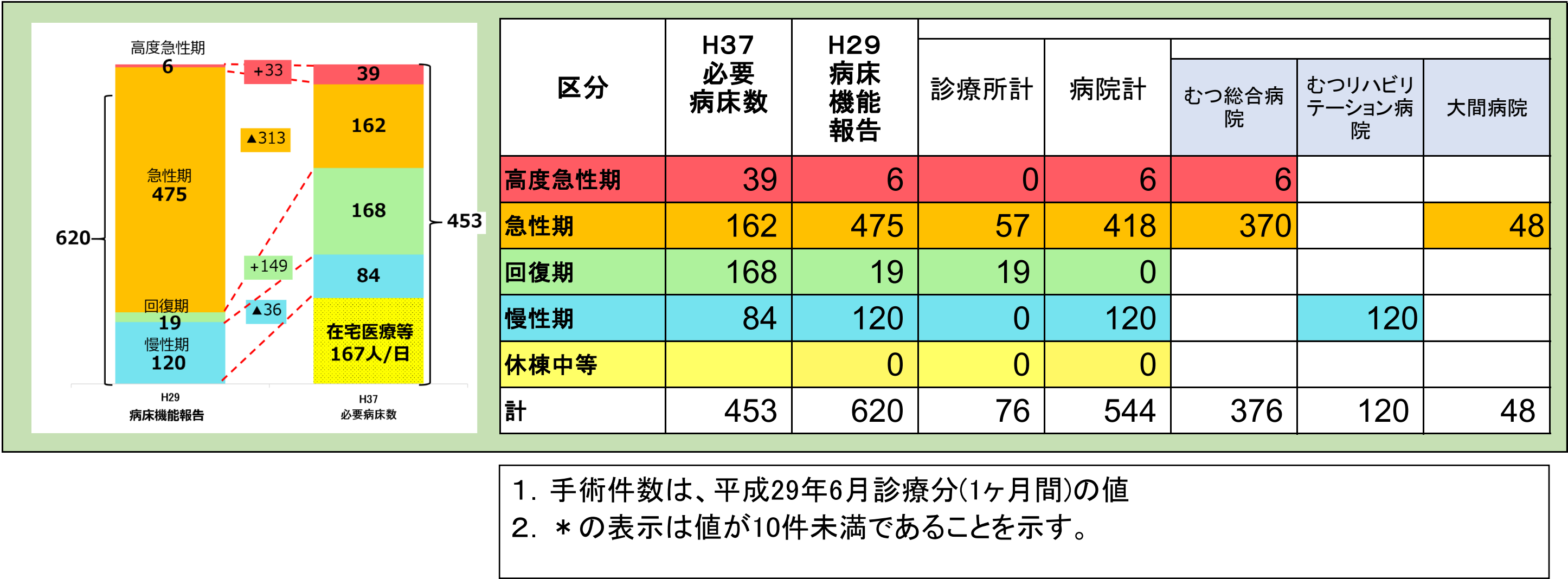


1. 手術件数は、平成29年6月診療分(1ヶ月間)の値
2. * の表示は値が10件未満であることを示す。

			むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
(項目の解説)					
手術総数		手術の状況は、手術を受けた患者数と、手術の対象となった臓器別の患者数です。	211件	0件	*
臓器別の状況	皮膚・皮下組織		*	0件	*
	筋骨格系・四肢・体幹		19件	0件	0件
	神経系・頭蓋		0件	0件	0件
	眼		0件	0件	0件
	耳鼻咽喉		*	0件	0件
	顔面・口腔・頸部		0件	0件	0件
	胸部		10件	0件	0件
	心・脈管		23件	0件	0件
	腹部		97件	0件	*
	尿路系・副腎		27件	0件	0件
	性器		26件	0件	0件
	歯科		0件	0件	0件
	全身麻酔の手術総数		53件	0件	0件
臓器別の状況	皮膚・皮下組織		*	0件	0件
	筋骨格系・四肢・体幹	11件	0件	0件	
	神経系・頭蓋	0件	0件	0件	
	眼	0件	0件	0件	
	耳鼻咽喉	*	0件	0件	
	顔面・口腔・頸部	0件	0件	0件	
	胸部	*	0件	0件	
	心・脈管	0件	0件	0件	
	腹部	29件	0件	0件	
	尿路系・副腎	0件	0件	0件	
	性器	*	0件	0件	
	歯科	0件	0件	0件	
	人工心肺を用いた手術		0件	0件	0件
胸腔鏡下手術		0件	0件	0件	
腹腔鏡下手術		*	0件	0件	

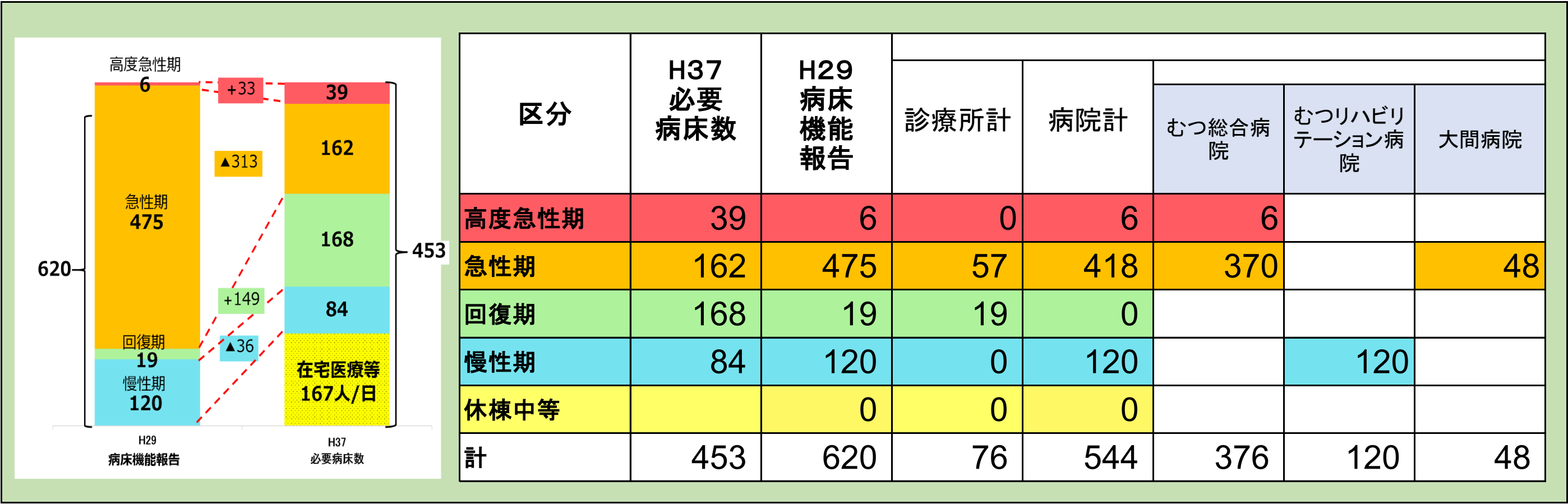
(考察)

- ・むつ総合病院では月200件以上の手術を行っている。
- ・全身麻酔手術の報告があったのはむつ総合病院だけである。



5. がん、心筋梗塞、分娩への対応状況

		3 0 件以上	1 ～ 2 9 件	むつ総合 病院	むつリハ ビリテー ション病院	大間病院
(がん)						
(項目の解説)						
悪性腫瘍手術	悪性腫瘍手術とは、がんを取るための手術です。値は手術を行った患者数です。	24件	0件	0件		
病理組織標本作製	病理診断とは、患者の身体から採取した細胞や組織等を観察し、病気の確定診断をすることを行います。病気の早期発見や治療方針の選択、治療効果の判定等にも役立ちます。値は病理診断に必要な標本(細胞の組織片等)を作成した患者数です。	51件	0件	*		
術中迅速病理組織標本作製	術中迅速診断とは、病気の良性・悪性の判断や切除範囲を決めるため、手術中に病理診断をすることをいいます。そのための病理組織標本作製を、手術中に行った患者数です。	*	0件	0件		
放射線治療	放射線治療とは、がん放射線に当てる(照射すること)で、がんを縮小させる治療を放射線治療といえます。値は放射線治療を行った患者数です。	17件	0件	0件		
化学療法	化学療法は、抗がん剤によりがんを殺したり、小さくしたりする治療法です。値は化学療法を行った患者数です。(ここでいう抗がん剤とは、総務大臣が定める日本標準商品分類における「8742腫瘍用薬」に指定されている医薬品のことを指します。)	64件	*	0件		
がん患者指導管理料1及び2	がん患者指導管理料は、がんの患者が、診断結果や治療方法を理解し、納得のいく治療方針を選択できるよう、専門的な研修を受けた医師や看護師が、文書での説明や相談、指導を行っていることを示す項目です。値は相談や指導を行った患者数です。	0件	0件	0件		
抗悪性腫瘍剤局所持続注入	抗悪性腫瘍剤局所持続注入は、がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)等を用いて動脈や静脈等に抗がん剤を持続的に注入する治療です。値はこの治療を行った患者数です。	37件	0件	0件		
肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入は、肝臓がんの患者に対し、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて肝動脈内に抗がん剤を投入する治療方法をいいます。同時に、動脈の血流を遮断する物質を注入することで、肝臓のがんを殺す治療です。値はこの治療を行った患者数です。	0件	0件	0件		



(心筋梗塞)

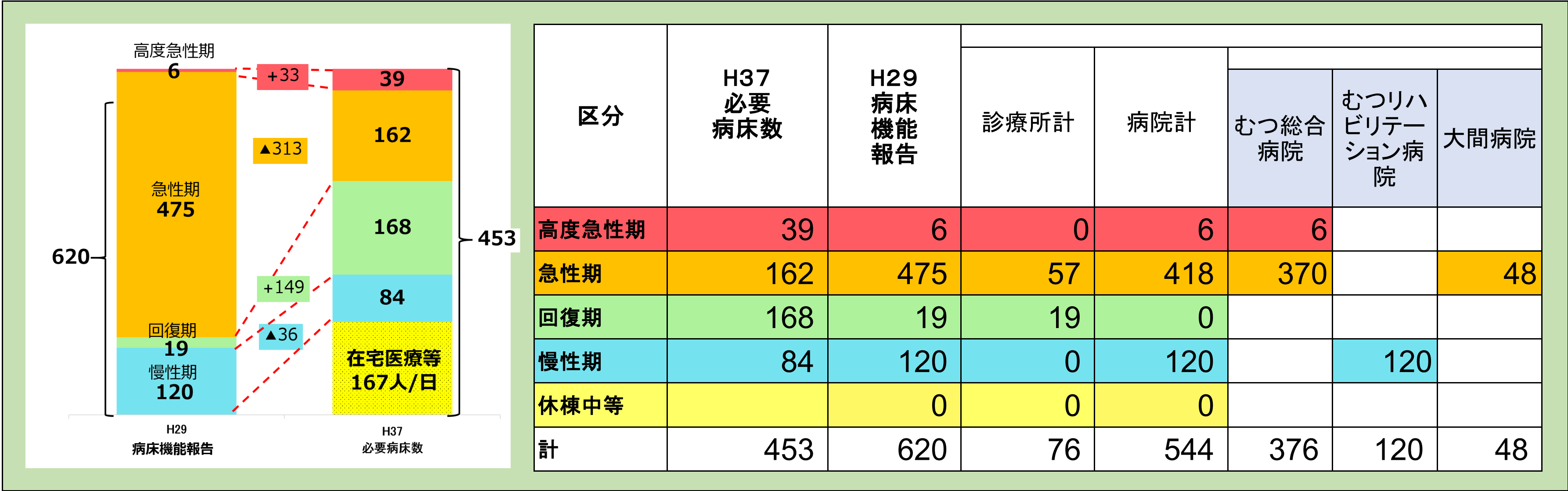
	(項目の解説)	むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
経皮的冠動脈形成術	経皮的冠動脈形成術は、狭心症や心筋梗塞等の患者に対し、胸部を切り開く開胸手術をせず、カテーテル(細い管状の医療器具)を用いて心臓の冠動脈を血管の内側から治療する手術です。値はこの手術を行った患者数です。	15件	0件	0件

(分娩)

	(項目の解説)	むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
分娩件数(正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く)	分娩を行った患者数です。	23件	0件	0件

(考察)

- 悪性腫瘍の手術、心筋梗塞の手術(経皮的冠動脈形成術)を行っているのは、むつ総合病院だけである。
- 分娩取扱を行っているのは、むつ総合病院だけである。

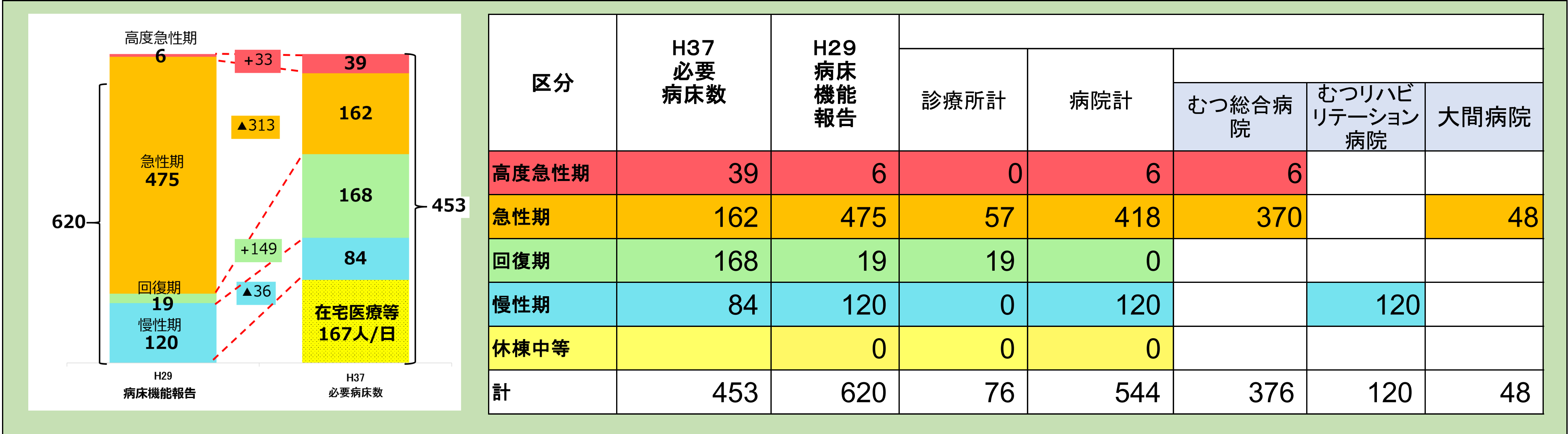


1. 診療実績等のデータは平成29年6月診療分(1ヶ月間)の値
2. * の表示は値が10件未満であることを示す。
3. 「休日に受診した患者延べ数」、「夜間に受診した患者延べ数」、「救急車受入件数」については、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間の件数

6．救急医療の実施状況		750件以上（社会医療法人の認定要件：夜間・休日　救急車受入件数＝年750件以上）	むつ総合 病院	むつリハビ リテーショ ン病院	大間病院
		1～749件			
(項目の解説)					
院内トリアージ実施料	院内トリアージ実施料は、夜間や休日、深夜に受診した救急患者に対し、その緊急度に応じて、診療の優先順位付け(院内トリアージ)を行っていることを示す項目です。値はトリアージを行った患者数です。	*	0件	0件	
夜間休日救急搬送医学管理料	夜間休日救急搬送医学管理料は、夜間や休日等の救急搬送に対応していることを示す項目です。値は、深夜、休日等に救急車や救急医療用ヘリコプター等で搬送され、診療を行った患者数です。	15件	0件	0件	
精神科疾患患者等受入加算	精神科疾患患者等受入加算は、夜間や休日等に救急搬送される急性薬毒物中毒の患者に対応していることを示す項目です。値は、夜間や休日等に搬送された患者のうち、過去6月以内に精神科の受診歴がある患者や、急性薬毒物中毒(アルコール中毒は除く)と診断された患者数です。	0件	0件	0件	
救急医療管理加算1及び2	救急医療管理加算は、意識障害、昏睡等の重篤な状態の患者の緊急入院を受け入れていることを示す項目です。値は休日又は夜間に緊急入院し、救急医療を行った患者数です。	159件	0件	24件	
在宅患者緊急入院診療加算	在宅患者緊急入院診療加算は、在宅での療養中に病状が急変し、入院が必要となった場合に、患者の意向を踏まえた医療が引き続き提供されるよう、他の医療機関と連携する取組を行っていることを示す項目です。値は、他の医療機関の求めに応じて緊急入院を受け入れた患者数です。	0件	0件	0件	
休日に受診した患者延べ数	休日に受診した患者延べ数は、休日(日曜、祝日、年末年始)に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	3,749人	0人	434人	
	うち診察後直ちに入院となった患者延べ数	469人	0人	48人	
夜間・時間外に受診した患者延べ数	夜間・時間外に受診した患者延べ数は、夜間・時間外(医療機関が表示する診療時間以外の時間(休日を除く))に受診した患者数と、そのうち診療後にただちに入院が必要となった患者数です。	5,730人	0人	798人	
	うち診察後直ちに入院となった患者延べ数	945人	0人	140人	
救急車の受入件数	救急車の受入件数は、救急車や救急医療用ヘリコプター等により搬送され受け入れた患者数です。	1,695件	0件	259件	
救命のための気管内挿管	気管内挿管は、気道確保を行うためのチューブ等を口や鼻から挿入する処置です。値は救命措置として気管内挿管を行った患者数です。	*	0件	0件	
体表面ペースティング法又は食道ペースティング法	体表面・食道ペースティングは、胸部または食道内に電極をおき、電極を介して心臓を電気刺激する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	0件	
非開胸的心マッサージ	非開胸的心マッサージは、胸部を開く等の手術を伴わない、一般的な心臓マッサージを行う処置です。値は処置を行った患者数です。	11件	0件	*	
カウンスターショック	カウンスターショックは、心停止した患者に対し、AEDや専門の医療機器等を用いて、心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻す処置です。値は処置を行った患者数です。	*	0件	0件	
心膜穿刺	心膜穿刺は、心臓を覆う心膜に針等を刺し、心臓に貯まった水を排出する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	0件	
食道圧迫止血チューブ挿入法	食道圧迫止血チューブ挿入法は、食道静脈瘤からの出血に対し圧迫止血の目的でチューブを挿入する処置です。値は処置を行った患者数です。	0件	0件	0件	

(考察)

・ 救急車受入件数が年間750件を超えているのはむつ総合病院だけであり、年間約1,700件の受入れを行っている。



7. リハビリテーションの実施状況

1. 診療実績等のデータは平成29年6月診療分(1ヶ月間)の値
2. * の表示は値が10件未満であることを示す。

		30件以上	1～30件		むつ総合病院	むつリハビリテーション病院	大間病院
(項目の解説)							
疾患別リハビリテーション料		患者の疾患や状態に応じたリハビリテーションを行った患者数です。			140件	51件	27件
心大血管疾患リハビリテーション料		心筋梗塞、狭心症、慢性心不全等の患者に対し、必要な心機能の回復、疾患の再発予防等を図るために行うリハビリテーションです。値はリハビリテーションを行った患者数です。			0件	0件	0件
脳血管疾患等リハビリテーション料		脳梗塞、脳出血等の患者に対し、必要な基本動作能力、言語聴覚能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			27件	31件	*
廃用症候群リハビリテーション料		廃用症候群リハビリテーション料は、基本動作能力の回復、実用的な日常生活における諸活動の自立を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			0件	*	14件
運動器リハビリテーション料		脊椎損傷による四肢麻痺、関節拘縮(かんせつこうしゆく:関節の動きが制限された状態)等の患者に対して、必要な基本的動作能力等の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			98件	*	*
呼吸器リハビリテーション料		肺炎、肺腫瘍、慢性の呼吸器疾患等の患者に対し、症状に応じて必要な呼吸訓練等を行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			*	0件	0件
障害児(者)リハビリテーション料		脳性麻痺、発達障害等の患者に対し、状態に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			0件	0件	0件
がん患者リハビリテーション料		がんの患者に対し、治療の過程で生じた筋力低下、障害等の改善を目的として行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			13件	0件	0件
認知症患者リハビリテーション料		重度の認知症患者に対し、必要な認知機能や社会生活機能の回復を図るために行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			0件	0件	0件
早期リハビリテーション加算 (リハビリテーション料)		早期リハビリテーション加算は、治療開始後の早期段階(治療開始日から30日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は早期段階のリハビリテーションを行った患者数です。			99件	*	21件
初期加算(リハビリテーション料)		初期加算は、治療開始後の初期段階(治療開始日から14日以内)からリハビリテーションを行っていることを示す項目です。値は初期段階からリハビリテーションを行った患者数です。			80件	0件	18件
摂食機能療法		摂食機能療法は、食べる機能(摂食機能)が落ちている患者に対し、症状に応じて行うリハビリテーションです。値はこのリハビリテーションを行った患者数です。			12件	0件	0件
リハビリテーション充実加算 (回復期 リハビリテーション病棟入院料)		リハビリテーション充実加算は、より多くのリハビリテーションを集中的に提供できる病棟であることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。			0件	0件	0件
休日リハビリテーション提供体制加算 (回復期 リハビリテーション病棟入院料)		休日リハビリテーション提供体制加算は、休日にも平日同様にリハビリテーションを提供できるような職員配置がなされていることを示す項目です。値はこうした病棟に入院している患者数です。			0件	0件	0件
入院時訪問指導加算 (リハビリテーション総合計画評価料)		入院時訪問指導加算は、医師、看護師等が、患者が退院後に生活する自宅や施設等を訪問し、その住環境や家族の状況等を踏まえたリハビリテーション実施計画を策定していることを示す項目です。値はこのようにして計画が策定された患者数です。			0件	0件	0件

平成 29 年度 病床機能報告結果（診療実績等）における考察部分の再掲

（各医療機能区分の病床数について）

- ・ 急性期と慢性期の医療機能で、病床機能報告による病床数が将来の必要病床数を上回っている。
- ・ 入院医療から在宅医療へ移行することが可能と推計される患者数は 167 人で、在宅医療提供体制の新たな整備が必要である。

（算定する入院基本料届出病床数について）

- ・ むつりハビリテーション病院は介護療養病床を有しており、平成 36 年 3 月末までに介護医療院等への転換が必要となっている。

（認定・届出等について）

- ・ 大間病院が在宅療養支援病院の届出を行っている。

（手術の状況について）

- ・ むつ総合病院では月 200 件以上の手術を行っている。
- ・ 全身麻酔手術の報告があったのはむつ総合病院だけである。

（がん、心筋梗塞、分娩への対応状況について）

- ・ 悪性腫瘍の手術、心筋梗塞の手術（経皮的冠動脈形成術）を行っているのは、むつ総合病院だけである。
- ・ 分娩取扱を行っているのは、むつ総合病院だけである。

（救急医療の実施状況について）

- ・ 救急車受入件数が年間 750 件を超えているのはむつ総合病院だけであり、年間約 1,700 件の受入れを行っている。